

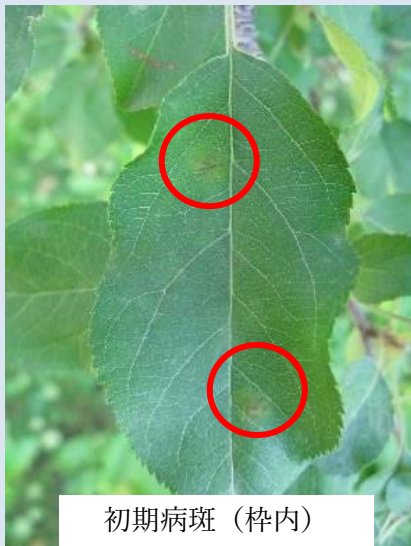
「リンゴ黒星病」のDMI剤耐性菌が発生！ 園地の発生確認を行ってください！

生産者の皆様の御協力をお願いします

昨年の秋以降に県外から導入した苗木を定植した圃場で、青森県で発生したものと同様の遺伝子変異をもった「リンゴ黒星病」の発生が確認されました。この病原菌は、DMI剤に耐性を持っており、これまで使用していたDMI剤では防除できません。

リンゴ黒星病について

葉柄、葉、果実に斑点が生じる。



写真提供
農業技術課 近藤

**○県外から導入した苗木の定植ほ場については
至急、ほ場における黒星病の確認を行ってください。**

裏面

りんごを生産されている皆様へ

黒星病の発生を防ぐため、適切な防除方法を再確認してください。

- この耐性菌は、「リンゴ黒星病」の防除に使用していたDMI剤やQoI剤の薬効が期待できないため、別の薬剤に代替する必要があります。（青森県ではDMI剤耐性菌がQoI剤にも耐性がある）
- 感染拡大防止のため、発生を確認した場合は、直ちに発病した葉や果実を摘み取って袋に入れ、密閉してほ場外に持ち出し、土中への埋却や焼却により処分してください。

【リンゴ黒星病防除に使用できる殺菌剤】

薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数
アントラコール顆粒水和剤	500倍	収穫45日前まで	4回以内
オキシラン水和剤	500倍	収穫14日前まで	4回以内
ジマンダイセン水和剤	500倍	収穫30日前まで	3回以内
ダイパワー水和剤	1000倍	収穫14日前まで	6回以内 (開花期以降3回以内)
ベフラン液剤	1500倍	前日	6回以内 (開花期以降3回以内)
[有機銅水和剤] キノドー水和剤80 ドキリンフロアブル	1200倍 800倍	収穫14日前まで	4回以内

【使用できない薬剤】

【DMI剤】

- ・アンビルフロアブル
- ・インダーフロアブル
- ・オンリーワンフロアブル
- ・スコア顆粒水和剤
- ・ブローダ水和剤
- ・マネージM水和剤

【QoI剤】

- ・スクレアフロアブル
- ・ストロビードライブフロアブル
- ・ナリアWDG
- ・フリントフロアブル
- ・ファンタジスタ顆粒水和剤

・使用する薬剤の選択に当たっては、JA又は農業改良普及センターにご相談ください。

・本病は、降雨時に感染が広がるとされているため、降雨前までに薬剤防除を行う必要があります。

・作業をした衣類や手などを介して、別の園地に感染する可能性がありますので、手の消毒などにより感染防止対策をとってください。

・株元に落ちた被害落葉についても拾い集めて適切に処分してください。

疑わしい症状が確認された場合は

長野県病害虫防除所

(東北信地域)026-248-6471

(中南信地域)0263-53-5642

または、農業改良普及センターへ御相談ください。

表面